

## SCCJ研究討論会の発表に関して

日本化粧品技術者会学術委員会は SCCJ 研究討論会をより充実した研究発表の場とするために、第 62 回研究討論会から以下のように変更させて頂くことになりましたのでお知らせ致します。

- ① 報文発表と実験レポート発表に分かれていましたが、今後はその区分を廃止し報文発表のみとします。
- ② 発表時間は 10 分、質疑時間 5 分。
- ③ 報告される内容に関しては、研究の完結性は勿論重要となりますが、断片的な研究であっても、その成果が化粧品科学、化粧品技術に関連する独創的なものであれば発表を受付けます。したがって、例えば *in vivo* の試験は実施していないが細胞実験で興味ある知見が得られた場合などは発表対象となります。
- ④ SCCJ 研究討論会はあくまでも化粧品技術、化粧品研究の発表・討論の場として定義しておりますので、宣伝・広告の要素が強い発表に関しては修正をお願いする場合があります。したがって、発表に際しては以下の事項を厳守願います。
  - 所属企業のロゴマークや企業名は、発表名称などを記載する最初の PPT 原稿にのみ記載することが認められますが、これ以外の PPT 原稿への記載は遠慮願います。
  - 報告の際に用いる「物質名称」はトレード名称を使用しないで、化学名称を使用するよう努めてください。
  - 宣伝・広告の要素の大きい研究発表をお望みの場合は化粧品産業技術展 (CITE) の出展者技術発表会にお申込ください。